

第三者評価結果の公表事項（児童養護施設）

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

②施設名等

名称： 社会福祉法人擁童協会 児童養護施設 大野慈童園

種別： 児童養護施設

施設長氏名： 加納芳樹

定員： 52人

所在地： 岐阜県揖斐郡大野町寺内624番地

T E L : 0585-32-0172

③実施調査日

平成 26年 10月 21日（火）～ 10月 22日（水）

④総評

◇特に評価が高い点

- ・ 明治33年に施設として認可を受け100余年の長い歴史と実績に裏づけされ、創設者の施設運営の使命を受け継いでいる施設である。
- ・ 広い敷地にいろいろな樹木があり四季折々の風景があり自然豊かな環境である。特にイチヨウの木は樹齢に施設の年輪を感じさせてくれるシンボリックな役割を果たしている。
- ・ 食堂を中心とした五つの棟（ユニット）で異年齢の家庭的な生活が送られている。施設内外とも整理整頓され、子ども達の生活に適した環境に整えられている。また園に畑があり栽培や収穫を通して、生活意欲の向上に繋げている。
- ・ 職員同士はとても仲がよいとの声が職員から聞かれ、子ども達の養育に情熱を持った職員が多く様々な研修にも意欲的に出席し、一人ひとりが前向きに取り組み子ども達に接している。
- ・ 退園後のアフターフォローまで取り組んでおり、自立がうまくできずに戻ってきても温かく迎え入れ、再度の出発に向けて励ましている。退園後も行事に参加してくれたり、訪ねてくれると職員も日々、養育・支援に取り組んでいる中の大きな喜びとしている。
- ・ 今回の第三者評価の自己評価からの気づきのあった部分で、既に取り組みが始まっていることが窺える。

◇改善が求められる点

- ・ 養育・支援の方法や手順の他、様々な事例などに対し、棟（ユニット）内職員にとどまらず、全職員への周知徹底と施設全体で考え合う体制の強化を期待する。
- ・ 法人内での研修交流も考慮して、人材育成に努めていただきたい。
- ・ 経営について全体を見直し、諸制度を取り入れながら将来に亘って経営の安定化を期待する。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

- ・ 指摘された項目につきましては、真摯に受けとめ職員共通理解のもとに、改善に努めて参りたいと考えております。

⑥第三者評価結果（別紙）